

しんぶん
赤旗

日刊 ●月 3497円
日曜版 ●月 990円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます



しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会
発行責任者 木村 文次

残暑お見舞い申し上げます。暑い日が続きますので皆様ご自愛ください。

小中学校 統廃合問題

我孫子布佐地域の学校がなくなるの？

「あり方を考える会」は一部の市議会議員も加入し、様々な角度からの質問を教育委員会にしてきました。現在は、少子化を前提に様々な対応を考えていかねばなりません。私などは戦後教



2020年11月、星野市長は突如ふれあい懇談会において布佐中学校区地域の小学校2校と中学校1校を統廃合する「小中一貫構想」を発表しました。この後、教育委員会によるアンケートと保護者説明会が行われました。

また、国際規約となっている子どもの権利条約の第28条「教育への権利」第29条に「教育の目的」とあります。そこには「初等教育を、義務的なものとし、すべての者に對して無償とする」と

憲法26条は「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。②すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ、義務教育はこれを無償とする」と国家に課しています。

2022年1月には市民らによる「布佐中学校区の学校のあり方を考える会」が発足しました。一方、教育委員会は「布佐中学校区の学校の在り方検討委員会」を設置し、2022年7月から具体的な検討作業に入りました。

そして、市は口を開けば予算がないという中で、新築校舎を建てるお金はどこから出せるのか。他にも老朽化が進んでいる公共施設が目白押しです。まさに無謀な計画です。

学校教育はあくまでも子ども中心にすべきです。学校があればその周りに人が集まります。なくなれば人が離れていきます。小中学校の統廃合は行政自身が過疎化の街をつくることになりま

教育の目的には、子どもの人格、才能ならびに精神的および身体的能力を可能な限り全面的に発達させることと、人間としての基本的な権利に及ぶ内容がうたわれています。以上のことから人間を対象とする教育を、効率や金銭の尺度のみで行ってはなりません。まして将来への投資の対象とする経営感覚で行ってほ



祭りはその歴史的背景や

「神様に感謝すること。祭り(まつり)」「という言葉の語源は「祀る(まつる)」から。神様への祈りや供物を捧げる場として、他にも疫病や

この計画を許すならば他の学校地域も行われことにならざるでしよう。また、昨今の異常気象から災害となればすぐに避難所としていつでも利用できるのが学校施設です。食事の供給もすぐできます。文科省も学校を「コミュニティとして希



おみこフッシュイ 夏祭り

八坂神社祭礼の神輿は昭和50年に大改修(金員だけで600万円の費用。当時の町会などが負担しました)してから半世紀近く変わらずに引き継がれています。(緑S)



望している場合は存続できるとも言っています。将来のことを見据え3校存続への声をあげていこうではありませんか。(前市議 野村貞夫)

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/>です。スマホのQRコードはこちらから。→

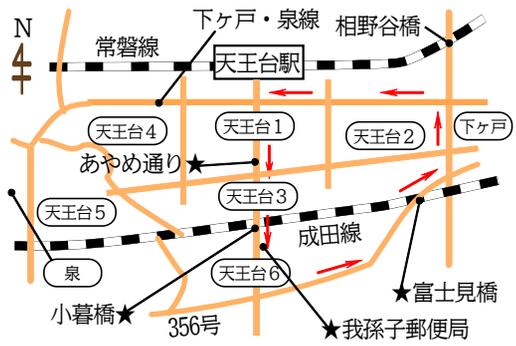
オオバン

この夏もあちらこちらで花火大会が行われている▼その昔「玉屋あー」「鍵屋あー」と江戸庶民は上がる大花火に合わせた掛け声で浮世のウサを晴らしていたという▼私も幼き頃、父に連れられ姉妹と一緒に見に行ったことを思い出す。行く先は河原であり土手であった。皆は好きな所に座り、前の日から場所取りなどすることはなかった▼今はどうか、手賀沼花火大会も年々盛大になりつつあるが、いつからお金を出さないと良い場所で見られなくなったのか。あの江戸っ子のための花火がお役人達のものになってはいまいか▼今のご時世、社員は正社員と非正規社員に分けられ、男性と女性とに分けられたジェンダー平等とは名ばかりの格差社会▼人生100年時代に入ったが、年金は100年安心とはならず「ゆりかごから墓場まで」行きどいた社会保障の消費税と、口車に乗せられて任せたら「失われた30年」と今、気が付いた▼夏の夜空を見上げて声を張り上げることもできずに溜息ばかり、令和の世となってもいつの世も同じか「どっこい私ほ……。」(N)

我孫子古道巡り

2024

天王台の東側を巡る



今回は天王台の東側を巡ります。
 天王台1〜6丁目、天王台駅開設に伴い宅地開発されました。天王台は元々は柴崎と、東の下ヶ戸、南の高野山から成ります。
 国鉄共済組合の天王台中央部の宅地造成を始めとして、昭和35年には町議会での新駅設置の促進決議が行われ、ただちに天王台駅の工事が始まり、昭和46年に天王台駅が開設しました。駅名は駅の所在地の字名「天王裏」から付けました。
 昭和37年には区画整理が始まり、清算業務終了は実に平成19年になります。
 また天王台1〜6丁目に住居表示されたのは昭和55年でした。

天王台駅南口を出ると、南に延びる道が駅前線(通称・あやめ通り)で、西東に延びる道が下ヶ戸・泉線です。二つの道の沿線には商店が並びます。



小暮橋から成田線を望む



あやめ通り



天王台駅南口



我孫子郵便局

あやめ通りを歩き、成田線をまたぐ「小暮橋」を渡ると「我孫子郵便局」があり、昭和58年に緑から移転しました。



富士見橋

足を進め356号(旧水戸道)を東に進むと成田線をまたぐ「富士見橋」です。

南には「東我孫子駅」が見え、北側は「下ヶ戸」の境界の道で、その先には常磐線をまたぐ「相野谷橋」が見えます。(栄 関口 参考文献「我孫子の地名と歴史」)

常磐線あれこれ 42

しらかば文芸欄 23 書道・寿 芳華



西武新宿駅ホーム

右の写真は西武新宿線西武新宿駅ホーム。現在特急列車が停車中ですが、車両側に扉のない右側のホームドアは閉まったままです。こちらのホームドアは一般車両(4扉)が停車したときに開きます。



空港第二ビル駅ホーム



「ひまわり」 若松・高橋祥子

常磐線と同じ様に快速と各駅停車が別々の線路で走る路線は、他に総武線と中央線がありますが、どちらの路線も車両のドア数とドムドアは未設置です。



新小岩駅グリーン車ホーム

ア位置は統一されており、総武線の新小岩駅では、快速ホームでは初めてグリーン車専用のホームドアが設置されました(左写真)。なお中央線快速は現在、グリーン車増結のためのドムドアは未設置です。(緑 竹内)